

萌えぎのエレン作品



新刊 300円



300円



300円

「マイマイ新子」の本



新刊 800円



300円

※しゅりんぶ詩舎発行(委託)

「どうして」シリーズ



300円



300円



300円



無料

歴史的仮名遣は生きてゐる!

今回は「正かなづかひ 理論と実践(じっせん)」「猫と正かなづかひの同人誌」「おもちくとすまいるくん」と、全ページ歴史的仮名遣の本が三種類登場しました。

歴史的仮名遣といふと「古典文学」を想像する人が多いでせう。そして戦前の国語表記の話となると、何故か、所謂「旧字体」の話ばかりで、「仮名遣」の話は置いてきぼりになる事が多いものです。そこで、今回は敢へて「現代文の歴史的仮名遣」にスポットを当ててみました。

もちろん、歴史的仮名遣が国家標準の正書法として復興する事は、今のところ難しいでせうし、それを目指してゐる訳ではありません。一般的な誤解と異なり、平和的な右派政治団体も、暴力的ないはゆる「右翼」も、正字正かな(いはゆる旧字旧かな)の復権に組織として取り組む所はまづ有りませんし、ある右派雑誌さへ「旧字体」での投稿を迷惑がたりと、国語問題では一寸頼りなささうです。

ですから、政治的運動で我が国の国語を改革する事を目指す代りに、まづ個人的・民間レベルで歴史的仮名遣の伝統を現代に活かす事は出来ないかと考へました。特定の政治思想を宣伝するのではなく、むしろ思想的背景や、国語に関する意見さへ細かい部分で異なる様々な人が、この同人誌に集まりました。是非ともお読みいたされれば幸ひです。

「はな(よみ)」主宰

押井徳馬

<http://osito.jp>



新刊 300円



新刊 500円



新刊 1,000円

※次号の原稿も募集中!

おもちくリーダー



にやもちくん



にやもちくん
(紳士Ver.)

缶バッジ



おもち☆マギカ

イラスト:野寄健秀



くろねこくん



へらへらさん

各100円

くまちゃん&おは幼女



くまちゃん来たって〜

缶バッジ



おは幼女(妹)

イラスト:押井徳馬 各100円



おは幼女(お姉ちゃん)

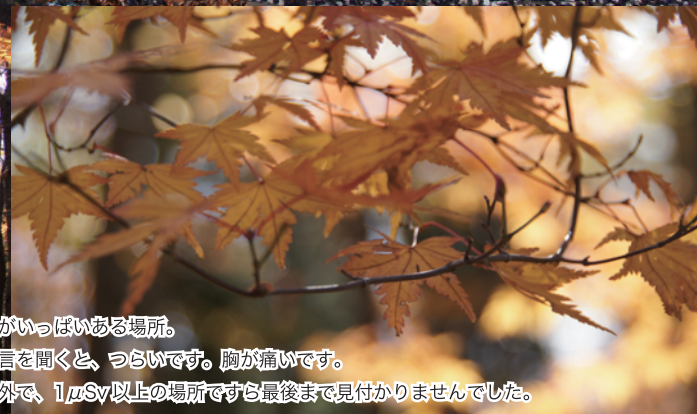


吾妻山

春になると、吾妻山に溶け残った雪が兎の形に見えるとのこと。今度はその季節にまた是非とも足を運んでみたいものです。ところで、郊外には、黙しても収穫されない渋柿をあちこちで見掛けました。今年は干柿作り禁止なのだから。福島県民ごめんなさい、と、心の中でつぶやきました。我が首都国民の電力需要のための原発が、こんなに迷惑を掛けたなんて。



信夫(しのぶ)山



小さな山。紅葉が綺麗でした。福島は私も大好きな美しい自然がいっぱいある場所。だからとぞ、こんなふるさとなんか見捨てて手放せ、なんて発言を聞くと、つらいです。胸が痛い。気になる線量ですが、ふもとどあまり変わらず低めだったのは意外で、1μSv以上の場所ですら最後まで見付かりませんでした。



2011年11月、千葉県を離れて、福島県福島市に行ってきました。



古関裕而



福島出身の作曲家、古関裕而の記念館。「栄冠は君に輝く」「六甲おるし」「スポーツショー行進曲」(NHKスポーツ番組主題歌)等スポーツ関連の楽曲や、「鐘の鳴る丘」「君の名は」「ひるのいとし」といったラジオ番組のテーマ曲をはじめ、沢山の曲を手掛けました。



レトロな街並

駅から少し歩くと、レトロな建物がいっぱい。かつて路面電車の線路があった通りとのことでした。



ももりん



福島市の観光PRキャラクター「ももりん」。市内あちこちで見掛けます。春の吾妻山に溶け残った雪が兎の形に見えるので兎、そして特産品の桃と林檎が名前の由来。可愛いももりんの存在を知ったのが今回の旅の一番大きな収穫。きっとまた来るからね！

自転車貸出無料はうれしいです。



「日本最初のラヂウム発見の地」とのこと。景色の良い川の両岸に温泉ホテルがいっぱい。おみやげに「ラヂウム玉子」もおすすめ。スーパ一でも売られています。



飯坂温泉

